

中学1年生校外学習～IN「しゃくなげの森」



しゃくなげの森の社長さんである池辺さんより「命」についてのお話をして頂きました。
普段何気なく食している肉や魚などすべてに命が宿っていること。だから「いただきます」の心を忘れてはいけない。また、自分たちの使っているものは全て、両親が命を削って買い与えてくれた物であるからこそ、感謝の気持ちと両親へのありがたみ、そしてすべての物を大切にする気持ちを持ってほしいとありました。
このお話を受けて、人や物に対する思いやりを持って生活していきたいと改めて感じさせられました。



7月31日（金）中学1年生初の校外学習に行きました。
三股町にある「しゃくなげの森」で半日という短い時間でしたが、夏空の下みんなで楽しく、沢山の体験を積むことができました。

川に入ることも初めての生徒がいる中、ヤマメのつかみ取りにも挑戦しました。悪戦苦闘しながらも自分の手でつかんだヤマメの塩焼きは最高においしかったです。また、ライフジャケットを着用し流れの速い場所での川遊び体験もしました。普段味わうことのできないスリルやおもしろさを存分に堪能し、改めて自然の厳しさやすばらしさを実感することができました。

ここで学んだことや、同級生との連帯感を大切にして、これからの学校生活を更により良いものにしていきたいです。



ENJOY! 校外学習!
2020.7.31

「命の大切さ」
を学びました!

